

シートベルトおよびヘルメット

シートベルトおよびチャイルドシートが車内に備え付けられている場合、その着用が義務付けられています。シートベルトは、衝突の際の負傷や死亡の危険を著しく低減します。更に、シートベルトまたはチャイルドシートの非着用に対して、高額の罰金が科せられます。モーターサイクル、モーベッド、モータースクーター、またはモーターバイク、（更にピクトリア州および南オーストラリア州ではモーターなしスクーター）に乗車する場合は、クラッシュヘルメットの着用が義務付けられています。

左側通行

オーストラリアでは、車両は左側通行です。左側通行の運転に慣れていない場合は、同乗者に発車時および交差点での右左折の都度注意してくれるよう頼んでおきましょう。その注意が死亡事故を防ぐことになるかもしれません。また、道路横断時は必ず、右、左、もう一度右を見て安全を確認してから渡りましょう。

標識

この標識は、停止してその他全ての車両を優先させねばならないことを意味します。道路に描かれた白い停止線のすぐ前で車両を停止します。線がない場合は、交差点に進入してくる車両のよく見える所で停止して、左右から進入してくる全ての車両に道を譲ります。

制限速度

オーストラリアでは、他の多くの国より厳重に、速度制限が施行されています。「制限速度」は、許されている最大限の走行速度で、この制限を超えて走行してはいけません。制限速度は標識のない道路や街路にも適用されます。一般的に、標識がなくても、街路灯があるかまたは家屋・ビル等が道路に沿って接近して立っている道路では、制限速度は50 km/hです。制限速度標識がなく、街路灯、または家屋・ビル等が道路に接していない地域では、制限速度はほとんどの州・地域において最大100 km/hです。悪天候（雨、霧）の場合、必ず速度を落として走行しましょう。尚、全ての州・地域に移動式の数値監視カメラが設置されています。高額の罰金を支払う必要のないよう、適度な速度で安全運転してください。また、各州・地域ごとに標識がない場合の制限速度を、必ず確認しましょう。

路面標識

路面に標示された中央線が一本破線の所では、安全であればその線を越えて追い越し可能です。中央線が二本線で、且つ自分の車線側の線が実線の場合、追い越してはいけません。また、路面に矢印が標示されている所では、矢印の方向にしか走行できません。

アルコールおよび薬物

飲酒しての運転は危険です。オーストラリアは飲酒運転に対して厳重な法律と処罰を設けており、警察は抜き打ちの呼気検査により飲酒運転を取り締まっています。本免許の保持者については、血中アルコール濃度が0.05パーセント以上の場合運転してはいけません。血中アルコール濃度が0.05パーセントでは、衝突事故の危険は倍増します。また、運転能力に影響を及ぼす薬物を摂取しての運転は、全ての州・地域で禁止されており、違反者は厳重に処罰されます。

疲労運転

運転者の疲労から、衝突で多くの人が死亡しています。疲労運転の防止には：

- 長時間の飛行後、特に時差のある飛行の後には、睡眠パターンが正常に戻るまで運転を控えましょう。
- 免許を保持する同乗者と交代で運転する。
- 定期的に停車して休息を取る。
- 1日に無理な距離の運転を避ける。
- 疲れたら、路肩に停車して仮眠を取る。

道路利用者が疲れた時に停車して休息するためのレストエリア（休息所）が、幹線道路では80〜120キロメートル毎に設置されています。施設は限られているものの、通常、ベンチ、テーブル、雨よけがあります。大変疲れている場合、睡眠が唯一の回復法です。

オーストラリアの地方・遠隔地での運転

地方・遠隔地での運転は、特別な運転技術、および都市部とは異なる条件の認識を必要とします。車両のコンディションが良好で、最近点検整備を行ったばかりであることを確認しましょう。また、必ず予備タイヤ、工具類、飲料水を携帯してください。主要ハイウェイを外れて遠隔地へ行く場合、余分の食料、水、燃料、タイヤを持って行きます。オーストラリアの遠隔地には町や施設がほとんどなく、それらの間の距離も長いことが多いため、旅の計画をしっかりと立ててください。遠隔地での旅行、もしくは幹線道路を外れる予定の場合、現地の警察にあらかじめ予定ルートを知らせておきましょう。

道路状況： 道路の路面は、舗装道路から砂利または土と、様々です。遠隔地の未舗装道路では四輪駆動車を使用してください。路面のくぼみ、路肩が軟弱な道路、狭い道路で路肩が不安定な場所、狭い橋、路面の変化、および土埃の上がる道路に注意しましょう。更に、回りの環境が急変することがあるため、幹線道路を離れる前に必ず現地の道路状況について確認します。また、日中も、他の車両から見えるようにヘッドライトを下向きに点灯します。不安定な路面では不慮の事態を避けるため、徐行するなど特別な注意が必要です。車両が路外に逸脱した場合、急な修正をせず、速度を落とし、安全な速度で走行するようになったら道路内に戻ります。尚、道路閉鎖の標識には必ず従ってください。

冠水道路： 道路の冠水に遭遇することもあります。路上の水は浅く見えても、車両を押し流すほど強い流れを伴うことがあるため、水位が下がるまで待つか、他のルートを利用しましょう。

ロードトレイン： ロードトレインとして知られる超大型のトラックは車10台分の長さにも及ぶことがあります。ロードトレインを100km/hで追い越すには、25キロメートルの距離を必要とすることがあります。ロードトレインの車体が左右に揺れることもあるため、追い越しをかける前に、十分な間隔をとることを念頭に置きましょう。更に追い越しの際、「ウインドラッシュ」により車両がロードトレインの方に引き寄せられることがあるため、十分注意してください。また、ロードトレインに追い越される際は、速度を維持し、路外に逸脱しないようにします。ロードトレインが追い越しをかけてきた時に初めて速度を落として、自分の車両とその前方車両との間にロードトレインのためにスペースを空けるようにします。

動物： 路上にカンガルーやエミューなどの動物が出てくることがあるので注意してください。また、道路脇に柵のない所では家畜が草を食んでいることがあります。動物が最も活発に動き回る時間は明け方と日没時です。前方に道路を渡る動物がいる場合、安全に速度を落としましょう。とっさに車両の進路を変えてはいけません。さもないと車両が横転することもあります。

車両が故障した場合： 車両は日陰を提供し、暑さから保護してくれるので、車両から離れず、助けが来るのを待ちましょう。衛星電話や非常用位置指示無線標識（EPIRB: Emergency Position Indicating Radio Beacon）装置など適切な非常用連絡装置を借りるのも一計です。

水辺での注意事項

ビーチでは必ず、赤と黄色の旗の間（外ではありません）を泳いでください。旗は最も安全に遊泳でき、ライフセーバーやライフガードがパトロールする場所を示しています。

オーストラリアの多くのサーフビーチには、リップカレント（離岸流）と呼ばれる強い流れがあります。この強力な流れに乗ると、沖の方へ流されます。リップカレントに乗ってしまったら、慌てずに流れに身を任せ、手を上げて他の人に知らせるか、または流れの外に出よう横切って泳ぎましょう。決して流れに逆らって泳いではいけません。

ビーチや水路、またはその入口にある警告標識を読み、それに従ってください。サーフコンディションについて確信がない場合、ライフセーバーに確認しましょう。

海に生息する動物に遭遇したら、接触を避けてください。無害に見えても危険な生物がいます。特に、オーストラリア北部沿岸の毒クラゲには注意しましょう。

ワニ（クロコダイル）は、オーストラリア北部の河川、淡水のラグーン、沿岸海浜に生息します。警告標識を読み、それに従ってください。

一人での遊泳は避けましょう。子供には泳げる大人の付き添いが必ず必要です。

オーストラリアの日差しは強烈です。シャツ、帽子、サングラスを必ず着用し、SPF30+のサンスクリーンローションを使用しましょう。

アルコールや薬物を摂取した後、また夜間、水の状況がわからない時は、絶対に泳いではいけません。浅瀬、ロックプール、クリーク、湖、または河川では、絶対に飛び込んではいけません。水面下の岩や丸太で負傷する恐れがあります。

自分の健康の限界をわきまえて、ダイビング、スノーケリング、水泳、その他のアクティブなレジャーを検討しましょう。

自然を楽しむ

アウトドアでのウォーキングまたはハイキングを計画する場合、以下を心がけてください：

- 行き先と戻る予定の時刻を誰かに告げ、戻った時にその旨伝える。
- 天気予報を確認し、予想外の天候の変化に備える。
- 計画したウォークの距離と難度を確認する。長距離または難度の高いウォークを行う際、現地ガイドを雇うのも一考です。
- たくさん水を飲む（暑い時期には、ウォーキング1時間当たり少なくとも1リットルの水を準備する）。
- 丈夫な靴、ソックス、帽子、楽な服装を着用し、サンスクリーンローション、虫除けを塗る。長距離のブッシュウォークに役立つ物としては他に、食料、暖かい服装、救急用品、懐中電灯、地図があります。
- 地図と標識を読み、ウォーキングトラックから外れないようにし、安全柵の内側に留まり、崖のふちに近づかない。
- 野生動物はかんだり引っかいたりすることもあるため、餌をやったり、かまったりしない。レンジャーステーションまたはパークインフォメーションセンターを訪ね、パークの見所および安全情報について詳細情報を入手しましょう。
- 火気の使用は極力避けましょう。料理には、テントの外で燃料ストーブを使用します。火からは目を離さず、離れる時は必ず火の始末をします。また、火気使用禁止令・制限が出ていないか注意してください。タバコの吸い殻は山火事の原因となるため、車両から落としたり、投げ捨ててはいけません。山火事に遭遇したら、速やかにその場から退避します。また、火傷を避けるためキャンプファイヤーは土や砂ではなく水で消火しましょう。